

# 議会報告会・意見交換会報告書

平成30年12月25日

茅ヶ崎市議会議長 白川 静子様

(委員会名)	環境厚生常任	委員会
(委員長名)	小磯 妙子	
(委員会名)	都市建設常任	委員会
(委員長名)	加藤 大嗣	

議会報告会・意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

日 時	平成30年11月2日(金) 13時30分 ~ 15時			
場 所	市議会全員協議会室A			
出席議員	小磯 妙子	小島 勝己	藤村 優佳理	松島 幹子
	花田 慎	永田 輝樹	山崎 広子	
	加藤 大嗣	小川 裕暉	新倉 真二	滝口 友美
	伊藤 素明	須賀 徳郎	広瀬 忠夫	
参加人数	9 人			
議会報告会	<b>【報告の内容】</b> (報告者) <u>須賀 徳郎</u>  <b>【質疑応答の内容】</b> 別紙「議会報告会の質疑応答の概要」のとおり			
意見交換会	<b>【意見等の内容】</b> 別紙「意見交換会の概要」のとおり			
議会報告会・意見交換会から抽出した課題	別紙「議会報告会での課題について」及び「意見交換会での課題について」のとおり			

## 議会報告会での課題について

課題	議会報告会での意見等	議会報告会での議会側の対応
ふるさと納税について	ふるさと納税に関する寄付や返礼品金額などの収支とこれに係る事務費として、いくら支出しているか問う。	寄付金については、返礼品にかかった金額は4,718万円で、事務費については、業務委託料として1,563万9,909円が計上されている。
病院事業会計について	繰越欠損額が39億、累積は50億となっているが、議会は今後も承認するのか。また、ベットの稼働率の低さについて問う。	原因は、診療報酬の事情と、看護師・医師が公務員であることから人件費が支出として大きい。市立病院が抱える不採算部門も公立病院として抱えていることも含め、今後について行政から答弁があったため、承認した。また、ベットの稼働率の悪さは、医業収支が良くない原因の1つである。国の基準で必要な看護師の不足などが影響している。今後は、急性期病院としての体制を見直すとの答弁があった。
ホノルル市・郡との姉妹都市について	ホノルルとの交流に関して、予算が「拡充」となっていることについての考え方、また、見直すべき点を問う。	ホノルル市とは、子どもたちの交流など、教育分野において成果を出している。また、行政・議会とともに友好都市として育て、さらに商工会議所とも将来を見据えた積極的な活動をしているため、順調に進んでいると考えている。

## 意見交換会での課題について

課題	意見交換会での意見等	意見交換会での議会側の対応
後期高齢者について	後期高齢者が必要とする物品等を購入可能なチケット制度、償還払い制等出来ないか。	意見として賜る。
市立病院について	2年連続10億円の欠損金の原因は受診者数の減少だと考えている。議会としての対応策を問う。	受診者数の減少は地域医療構想に基づいた経営の結果。議会として経営改善を求めている。前年度と比較して3,000名以上の受診者増だが、収益に結びつかなかったことは、問題視している。
	具体的な改善策を問う。	病院が公営会計を導入してから欠損金が増額した。医業収入比率向上について、成績の良い他の自治体の例を参照しながら収支改善を求めていく。病床の回転率の向上は看護師確保が肝要である。人間ドックの廃止を個人的に訴えている。また、経営形態を変えていかなければならないと考えている。
議会のチェック機能強化について	第3回定例会での議会の請願の対応に失望している。今後の改善を要望する。	意見として賜る。
道の駅事業について	道の駅事業の遅れについて問う。	公共用地取得には相手が居るので延期は仕方無い。逆に事業計画を再考できる時間として前向きにとらえている。
周知、啓発について	議会報告会開催の周知、啓発が不足しているのではないか。	真摯に受け止めたい。広報ちがさきに掲載する時期が遅かったことについてお詫びする。
県立茅ヶ崎北陵高校について	仮設から10年以上経過しているので、議会として対応すべきである。	意見として賜る。
PFI運営のメリットについて	柳島スポーツ公園をPFIで運営していくメリットについて問う。議会は様々なシチュエーション等を勉強すべきである。	議会としては行政からバリュー・フォー・マネーについて説明があった。